

平成28年度登別市立図書館 運営方針と重点施策

～豊かな時間を図書館で～

1. 運営方針

「地域を支える情報拠点」としての図書館の役割を認識し、「地域の社会関係資本」「教育的資源」としての機能を積極的に果たす。

○図書館の目的である「教養・調査研究・レクリエーション」（図書館法第2条）の3つについて、偏ることなく全般的・網羅的な充実を図る。

○図書館が長期にわたって利用されるには、「空間（施設）・人（職員）・資料」の3要素の充実が必須である。

○地域社会のニーズに基づき、資料の多面的な収集・提供に努める。

○子どもからお年寄りまで、だれもが利用しやすいよう施設・設備の改善を図る。

○市内のどの地域に住む人も図書館が利用できるよう市内全域サービスの強化を図る。

○市民が気持ちよく利用できる居心地の良い場となるよう一層のサービス向上に努める。

○市民が読書に親しむ環境づくりを推進するため、各種事業を持続的に展開する。

○各種事業等を通じ、市民の図書館に対する認知度を高めることにより、市民の側が図書館に能動的に係われる環境を構築する。

○図書館と市民の関係を双方性なものになるよう努め、市民の「善意」を図書館活動に提供してもらえよう、地域に根ざした図書館への成長を図る。

○知識や技術・経験を有する市民に、講座や展示などの「出番」を提供する。

○すべての市民に「居場所」を提供する。

○ボランティア団体との連携を深め、彼らの能力と意欲を積極的に取り込み図書館の活性化を図る。

○コンピュータが苦手な情報弱者への情報リテラシー（情報活用能力）の育成支援に取り組む。

○市民が日々の暮らしのなかで、図書館がもっと身近なものになるよう、図書館の魅力や有用性を周知する利用教育と啓発普及に努める。

2. 重点施策

○施設

- ・移動図書館車「こぐま号」の経年劣化に対し、車両更新のための業務を進める。
- ・施設・設備の老朽化を点検し改善に努める。

○資料

蔵書の適正化

市民の多様なニーズに応える多様な資料の収集と整備を行うとともに、適正な蔵書数による魅力ある書架を創造する。

- ・書架の飽和状態の解消のため資料の除籍を進める。
- ・2階書庫及び幌別西小学校閉架書庫の除籍と整理を行う。
- ・除籍資料の有効活用を図る。
- ・市民活動センター「のぼりん」にリサイクルコーナーを設置する。
- ・知里真志保・幸恵など登別市出身者及び登別ゆかりの人の著作コーナーを開設する。

○サービス

➤ レファレンス

地域や住民が抱える問題の解決を支援するため、レファレンスサービスの充実を図り、利用促進のための周知に努める。

- ・オンラインデータベースや国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの利用講座を開催し、市民への周知と利用の促進に努める。

➤ 事業・展示

図書館への関心や興味を高めるとともに、市民が本に親しむ環境づくりに寄与することを目的として各種事業や展示を継続的に展開する。

- ・文化講演会や郷土関連講座、読み聞かせ研修会、絵本関連ワークショップ、図書館ツアーと利用者ガイダンス、ビブリオバトル、わらべうたと手遊び、などの多様な事業を継続して実施する。

➤ 「第2次登別市子ども読書活動推進計画」の取組

- ・図書館所管としてブックスタート事業を行う。
- ・ライブラリースタート事業について、配布率の向上に努める。

➤ 情報リテラシーサービス・利用教育

- ・図書館の活用講座をシリーズで開設・実施する。